

進路・地域支援だより

令和4年度6月
おかざきろうがっこうしんろ ちいきしえんぶ
岡崎聾学校進路・地域支援部
令和4年度第3号

進路希望調査ありがとうございました

進路希望調査へのご協力、ありがとうございました。中学部・高等部では、生産技能職以外の職種を希望する生徒が増えてきています。また、自分と合う仕事を探したいという気持ちをもつ生徒が増えてきました。今後、進路希望調査をもとに情報提供し、授業や進路指導に生かしていきたいと思えます。

いただいた質問にお答えします。

会社で働くというイメージがわからない。
仕事の内容や会社の名前がよく分からない。
自分にあった仕事が分からない。



毎年高等部3年生が内定をいただいた会社についてまとめたものを掲示しています。また、夏休みの「先輩の話聞く会」や3学期に行っている「高等部の先輩と語る会」でも直接卒業生や先輩から話を聞くことができます。実際に体験する場として現場実習がありますが、現場実習は基本的に「自分が就職する会社」を想定しています。A社、B社、C社の仕事内容が分からないからそれぞれの会社で実習をしてみたい、ということではできません。インターネットや会社のパンフレット、卒業生や先輩の話から情報を集め、会社を絞ることが大切です。



就職試験に向けて、特に力を入れた方がよいことは？



試験は大きく分けて筆記試験と面接の2つです。筆記試験は国語や数学、英語などの学科試験や、常識問題などのSPI試験などです。また作文が出る会社もあります。筆記試験は、受験者を振り落とすのではなく、基礎的な学力がきちんと身に付いているか、という視点で出されます。国語であれば中学校3年までの漢字（漢検3級）、数学であれば小学校5年生程度の割合などがきちんと理解できていることが大切です。また、面接はやる気があるかどうかを答え方で判断されます。日頃から元気よく挨拶や返事をするのが面接の練習にもつながります。



おや ぐ たいてき なに
親として具体的に何をしたらよいか？

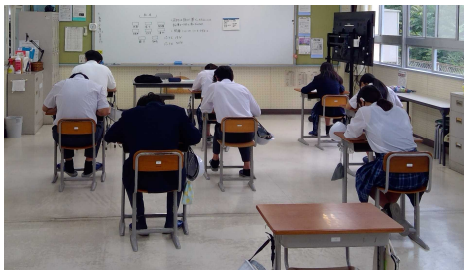


か てい て つだ まいにちつづ はや
家庭でぜひ手伝いをさせてください。毎日続けることで、「どうやったら早
く終わらせることができるか」「効率のよい方法は何か」と自分なりに工夫
しようと思います。また、子どもは、手伝いをして感謝されることで、やり
がいを感じます。これは、将来の勤労意欲にもつながります。子どもは、
ときどき手伝いをしなかったり、忘れたりしますよね。そのときも、ただ
叱るだけではなく、手伝いをしなかったことで、周りへの影響（お風呂掃
除をしなかったことで、いつもの時間に入れなかった、食器並べを代わり
にしたけれど、料理と同時にしなければいけなかったので大変だったな
ど）を話してください。そうすることで、仕事への責任感が生まれます。



も ぎ し けん おこな 模擬試験を行いました

5月21日（土）に高等部2、3年生の希望者を対象に、模擬試験とSPI試験を行いました。SPI試験は今年度より始めた模擬試験です。SPI試験を受けた生徒たちの感想を紹介します。



すう がく ぶんしょうもんだい と むずか
数学の文章問題を解くことが難しかった。
けいさん し そくけいさん れんりつほうていしき すばや
た。計算は四則計算や連立方程式を素早
く計算できるようにしたい。

おも い じょう しゃかい かん もん
思った以上に、社会のマナーに関する問
だい しゅつだい ひ ごろ けい ご い
題が出題されたので、日頃から敬語を意
しき つか
識して使いたい。

ち い き し え ん げ ん ば 地域支援の現場より

今年度も、夏季休業中の8月3日（火）に交流プラザを実施する予定です。今年で12回目となります。毎年、地域の学校に通う難聴児童生徒とその保護者が多数参加しています。今回の交流プラザでは初めての試みとして、中学生対象に高等部の授業体験を計画しています。保護者の方には、高等部の授業体験の様子を参観していただく予定です。進路選択の際の一つとして聾学校を考えていただく参考になるかと思えます。多数の方々の参加をお待ちしています。